

星稜サ・エ・ラ

稲置学園

INAOKIGAKUEN NEWS LETTER

SEIRYO ÇA ET LÀ

No. 1

2006



CONTENTS

トップ・エッセイ
「そして明日からも」
稲置美弥子

Close-up People
星稜中学・高等学校新校長
羽賀多聞インタビュー

各学園だより
金沢星稜大学
星稜中学・高等学校
星稜女子短期大学
星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園

Pick up Information
稲置学園トピックス



学校法人 稲置学園



そして明日からも

稲置 美弥子

〔稲置学園理事長〕

今年もまた春がめぐってきました。新しい園児・生徒・学生と新しい職員を迎え入れる4月、わが稲置学園の建学の精神をあらためてかみしめます。

「誠実にして社会に役立つ人間の育成」

稲置学園の創立者であり、私の父でもある故稲置繁男初代理事長が掲げたこの建学の精神は、前身である北陸明正珠算簿記専修学校の創設から70余年を経た今も古びてはおりません。それどころか、濡れ手に粟のごとく勞せずして利を得ることがもてはやされたり、人を簡単に「勝ち組」「負け組」で色分けしたりする最近の社会風潮に照らし合わせますと、ますます尊い価値を帯びてきているように感じます。

「誠実」とは真心を持って人や物事に対するという普遍的な美徳であり、ここである「社会に役立つ」とは先ず、社会人としての実務能力に秀でることであります。すなわち「徳

育」と「実学」。これこそ初代理事長が掲げた教育目標だったのです。

私は入学式の告辞において、この建学の精神について必ず触れることにしています。新年度にあたって私自身が覚悟を新たにするとともに、生徒・学生や保護者の皆さん、そして職員たちにも胸に刻んでいただきたいと願っています。



早いもので、平成5年6月に理事長に就任してから丸13年の歳月が流れようとしています。

この間、金沢星稜大学





（旧金沢経済大学）の学舎を新築し、続いて星稜中学・高等学校の校舎と体育館を新築しました。また、学園全体を結ぶ最新のネットワークシステムを整備し、創立70周年を迎えた平成14年には星稜中学・高等学校に人工芝の多目的運動場を新設しました。

こうした快適な教育環境づくりと並行して、教育システムやカリキュラムの充実も着実に進めてきました。

これら一連の取り組みはすべて、幼稚園児から大学生まで、稲置学園に集う子どもたちに対して何を提供するのがベストなのか、という発想に基づいています。

学園は創設以来、市民の皆様大変お世話になり、沢山のご支持をいただきました。今ももちろんいただいております。それだけに学園として社会貢献したいと考えています。

幸いにして、直接的に教育に携わる先生方は意欲にあふれています。子どもたちのことを真剣に考え、改革に向けたさまざまな提案や意見を出し順次実践しています。

しかし、現代社会は猛スピードで変化しています。子どもたちの価値観や意識もびっくりするくらい急激に変わってきています。

子どもたちが何を求め、何を目指そうとしているのか。そのことをしっかりと見極め、

さらなる改革に取り組むことが、今ほど強く求められているときはないでしょう。



ニューヨーク・ヤンキースの松井秀喜選手は、恩師である山下智茂現総監督を訪ねてオフシーズンになると必ず母校に來られます。もちろん松井選手ばかりでなく、多くの卒業生たちがしばしば足を運んでくれます。

巣立ってから5年後も、10年後も、母校に立ち寄れば恩師の姿があり、言葉を交わせる。卒業生にとってはうれしくも心強い絆であり、そこからまた母校愛が深まっていくようです。教職員の異動が頻繁な公立校では築きにくい、私学であるがゆえの美風かもしれません。

思い起こせば、先代理事長は常々、こんな言葉をよく口にしていました。

「どんな子どもにも必ず取り柄がある。それを見つけ出して、伸ばしてあげることが教育の基本なんだ」

一人一人の個性や資質を尊重しながら、しっかりとした教育を施すことにより、子どもたちが自らの成長を自覚し、「入学してよかった」「卒業してよかった」と実感してくれる学び舎。そんな学園であり続けることを願って、私たちはたゆまず歩んでいるのです。これまでも、そして明日からも。



いなおき・みやこ 学校法人稲置学園の創立者である故稲置繁男初代理事長の長女として金沢市に生まれる。昭和58年2月、稲置学園理事・評議員、同4月、学園本部総務課長。初代理事長の死去に伴い、平成5年6月、第2代理事長に就任。

星稜中学・高等学校 新校長

羽賀

Tamon
Haga

多聞

星稜中学・高等学校の新校長に、これまで教頭を務めていた羽賀多聞氏が就任しました。北海道函館市生まれの57歳で、星稜高校における教師としてのキャリアは30年に及びます。こよなく星稜を愛し、生徒たちと真正面から向き合ってきた羽賀校長に、これからの抱負をうかがいました。

学力でも全国に名をとどろかせたい。 いつまでも”本物“であり続けるために…

「せいりよう」を名乗る教育機関は全国に20校以上あると聞いております。関西から出された住所の無い「せいりよう」高校の郵便物が我が校に届いたり、ある「せいりよう」高校が修学旅行で九州を訪れた際、石川の「星稜」とよく間違えられるとの話を聞きます。全国の「せいりよう」

の中で、知名度として、つまり”本物“と認知されているのは、わが星稜高校だと自負することは行きすぎでしょうか。

耳に残る長嶋さんの言葉 「北陸の桐蔭を目指せ」

”本物“と認められるのは大変名誉なことではありますが、この全国的な知名度が得られたのは野球部やサッカー部の活躍によるものです。野球部はこれまでに春11回、夏14回の計25回も甲子園に出場し、平成7年には夏の甲子園大会で準優勝に輝きました。サッカー部も全国高校サッカー選手権の常連出場校となり、平成16年度には初のベスト4入りを果

たしました。もし両部の華々しい活躍がなかったなら、星稜はこれほど有名にはなっていなかったと思います。

では、星稜の名を聞いて、「学力に秀でた高校」、あるいは「心の教育に優れた高校」を連想する人はどれほどいるでしょうか。現在のめざましい国公立大学進学が全国的にはあまり知らされていないこともあって、体育ほどではありません。

星稜高校では「徳・知・体」を教育の基本方針に掲げ、徳育と知育にも力を注いできました。その中で知名度の高さに関しては体育が先行しているのが現実なのです。

平成14年の稲置学園創立70周年記念式典で長嶋茂雄さんが講演されました。その講演のなかで長嶋さんがおっしゃった「北陸の桐蔭を目指せ」という言葉が、今も私の耳に鮮やかに残っています。神奈川県桐蔭学園は全国有数の進学校であり、野球やラグビーの強豪としても知られています。長嶋さんは、その桐蔭学園



のように「文武両道で名を上げよ」と激励してくださったわけです。

新校長に就任するにあたり、私は徳育と知育、とりわけ知育の強化充実を図り、大学進学の実績をさらに高めることを一番の目標に掲げたいと思います。そして、長嶋さんの期待通り、いつかは学力でも全国に名がとどろく高校になることを目指します。それが取りも直さず、わが星

稜高校がいつまでも“本物”であり続けることにつながる道だと信じています。

着実に伸びる進学実績は 指導力とコース制の成果

平成16年度の大学入試合格状況は、国公立大学合格者が161名、うち東京大、大阪大、東京工業大をはじめとする難関国公立大学合格者が12名を数えました。私立大学についても早稲田、慶応義塾、上智に過去最多の22名が、また関関同立（関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学）にも過去最多の163名が合格しました。平成17年度については、まだ最終結果がまとまっていませんが、16年度並み以上の成績を収めたとの感触を得ています。

このように着実に合格実績が上がってきている原動力はいくつかあります。そのなかでも特に先生方の高い教育力・指導力と意欲、そして平成14年度から導入したコース制の力が大きいと分析しています。

先生方はすでに高い指導力を備えています。さらにレベルアップを図るべく、公開授業や研究授業はもとより、種々の講習に自主参加して指導ノウハウの吸収に努めるなど向上心に燃えています。また、毎日遅くまで校内で自己研鑽や生徒指導に取り組んでいます。その結果、生徒たちのやる気も高まり、それに伴って学力が伸びてきているのです。

コース制は、全国のトップレベルの大学合格を目指して徹底的に勉学に励むAコース、勉強だけでなく部活動にも取り組むBコース、そして部活動に力を入れながら大学進学を目指すPコースの3つに分かれています。

Aコースは毎日7限授業により週37時間の授業を確保し、専任スタッフが3年間持ち上がりで継続指導します。Bコースは週33時間の授業で、習熟度別クラス編成をとっています。またPコースも週31時間を授業に当てています。

入学時点で生徒たちのほとんどは大学進学を視野に入れています。目指すレベルや方向が異なっていたり、過ごしたい高校生活が異なっていたりします。そうした多様なニーズに対応しながら、それぞれに最適な教育環境を提供するのがコース制導入の狙いでした。

導入から4年を経て、当初の狙い通りの成果が表れていると実感しており、引き続きこのシステムを維持しながら、質的向上に取り組みたいと考えています。

大きな輪に広げたい 生徒たちの自主性

徒同士で意見を交わし、答えを見つけて、出そうとする自主性が芽生えているのです。安易に先生に頼らず、まず自分たちで考えをもみ合せて、それでも解決できなければ、初めて先生に相談するという形です。



うれしいことに、A・Bコースでは放課後も遅くまで残って自習する生徒が目立って増えてきています。職員室における先生への質問も活発です。

そんななかで、私が注目している動きがあります。まだ一部ではありますが、授業中の不明点について生

同時に多忙を極める先生方の負担を軽くするという意味でも望ましいあり方です。実際、生徒たちの自主性を尊重し、7限授業を6限授業に減らして成功している進学校もあります。ので、私たちもこの輪が大きく広がっていくことを期待しています。実は、校外模試の成績を比較する

と、17年度の卒業生よりも新3年生の水準が高く、また新3年生よりも新2年生の水準が高いという結果が出ています。これも先行きに力強い手応えを感じている要素の1つです。このように生徒たちの学力は間違いないでレベルアップしていく方向にあるわけですから、私たちはこの流れがさらに加速するよう精いっぱいサポートしていきます。そして、できるだけ早い機会に国公立大学合格者の2000名突破を実現したいと考えています。

人間教育があるからこそ 負けても人々の心に響く

箕島高校と繰り広げた延長18回の死闘、松井秀喜君の5打席連続敬遠、負傷した捕手を守り立てながら懸命に闘った決勝戦……いずれも負けた試合ですが、星稜野球部は伝説に残る数々の名勝負を甲子園に刻んできました。サッカー部も、16年度の全国高校サッカー選手権準決勝で、ロスタイムに奇跡的な同点ゴールを決めながら、PK戦で涙をのむという劇的な試合を演じました。

どうやら星稜には負けても人々を感動させる不思議な力があるようです。その秘密は普段の人間教育の成果であると思います。精神力や人間性も培われているからこそ、大舞台

星稜で学ぶ、 それは生き方になる

星稜の生徒は入学した後に伸びる、とよく言われます。それは学業、スポーツを問わず、生徒がこのキャンパスで何かに気づき、目的を持って自分から取り組むという気風があるからです。生徒一人一人の個性を見つめ、その人間性と能力をともに伸ばしていく教育指導の結果、生徒たちが知らず知らずのうちに自分の生き方を育んでいくでしょう。

星稜の生徒には守るべき5つの誓いがあります。そして教諭スタッフもまた5つの方針を持って生徒と向き合っています。お互いが自らに課した約束を守ることを通して、深い信頼関係で結ばれているからこそ、高い教育効果がもたらされるのです。

知識や技能を修得するだけではなく、人としていかに生きるか、という意識を持って送る学校生活。星稜で学ぶことは生き方を一緒に学ぶことなのです。



で人々の心に響くプレーや態度が発揮できるのではないのでしょうか。

先にも申し上げましたが、星稜では德育を教育目標の一番目に掲げています。「誠実にして社会に役立つ人間の育成」という建学の精神に基づきながら、知識や技能とともに、人間性も伸ばすことに取り組んできました。生徒である前に、人間としていかに行動し、人や社会にどう接するべきかという人間教育が基本になっているのです。

一例を挙げますと、17年度は遅刻者延べ人数を2000人以内に抑えるという具体的な目標を立てました。生徒数が約2000人ですから、1人平均年間1回以内ということになります。生徒たちの自覚のおかげで目標を達成することができました。先生方も授業を通じて、命の大切

さや人間としてあるべき姿、あるいは自分の人生観などを生徒に伝えようとしています。勉強だけに意識を集中するのではなく、こうしたメッセージをきちんと汲み取れる生徒であってほしいと願っています。

部活動については、野球部やサッカー部だけでなく、陸上部、スキー部、トランポリン部なども全国レベルで活躍しています。あまり知られていないことですが、17年度石川県高校総体において、星稜は9年連続30回目の総合優勝を果たしました。しかも男子、女子、総合の3冠に輝いたのです。

それぞれの部ではPコースの生徒だけでなく、Bコースの生徒も中心選手として頑張っています。すべての競技で全国トップレベルを目指すのは難しいことですが、引き続き勉

強と両立させながら高い水準を維持していければと思っています。

よき伝統を受け継ぎながら
変えるべきは変えていく

星稜高校でもここ数年間で団塊の世代の先生方が定年を迎え、大量に退職します。星稜の古きよき伝統や校風を、若くて優秀な先生方につかりと受け継ぎながら、変えるべきものは変えていく。そのことも私の役割の1つだと思っています。

もちろん、校長が変わったからといって、大幅に方針やシステムが変わるわけではありません。特に学力に関しては今、星稜は伸び盛りです。この勢いをさらに力強いものにすべく全力を傾けてまいりますので、なにとぞ皆様方のご理解とお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



はが・たもん 昭和23年7月、北海道函館市出身。金沢大学理学部で生物学を専攻。修士課程修了後、製薬会社勤務を経て、同50年9月に星稜高等学校教諭に。平成13年4月から教頭。趣味はランの栽培。

金沢星稜大学

多彩な講師陣から学ぶ 客員教授講義

7月7日(木)、三谷産業(株)代表取締役社長三谷 充客員教授による講義「会社選びは難しい」が行われました。自分の価値を高め、好奇心を持ち、自分にあった仕事をしつかりと自分で選ぶことの大切さについて語りました。

7月28日(木)、アトム運輸(株)代表取締役社長鶴賀裕行客員教授による「見えない大陸…覇者の条件」が行われ、アニメ産業の隆盛や、実体経

済・ボーダレス・サイバー・マルチプルといったキーワードで21世紀の企業経営を解説しました。



鶴賀 裕行 客員教授 三谷 充 客員教授

平成17年度 稲友会県外支部会開催

稲友会県外支部会が富山(8月20日)、福井(8月27日)、新潟(9月3日)で開催されました。大学の現状や諸活動に関する説明や、学業成績・単位取得に関する説明などが行われ、個別懇談も行われました。また、同会場で就職ガイダンスも開催され、それぞれの地域の就職に特化した内容で、保護者の皆様を知っていただきたい北陸の就職の現状が報告されました。たくさん



んの方々にご参加いただきありがとうございました。



個別懇談の様子



内定者を招いて経験談を聞きました

ロシア社会実習2005 ロシア・イルクーツクの夏

寮に軍人がいたこと、舗装されていない道の多さに驚きました。ロシアの夏は、夜の10時頃にやっと日が暮れるので、時間の感覚がつかめなくて困りました。日本車がとても人気で、『折り紙』が雑誌で紹介されていたり、日本人とわかると握手を求められるなど日本に友好的だと感じました。

ロシアについて知っていたことは、チェチェン紛争や重

油流出など、正直あまり良い印象はありませんでしたが、先入観だけで決めるのはとても危険で、悲しい多くの誤解を生むのだと感じました。文化や考え方の違い、互いの国の歴史を知る努力をしなければならぬと思いました。滞在中にイラク、韓国など様々な国の人たちと触れ合い、海外からみた日本を知ることでもでき、たった2週間の滞在でしたが、ロシアと日本

の交流にとって貴重なことを数多く学べた研修でした。

■経済学部二部

紙谷 勉さん(3年次)
松野 努さん(2年次)
平井 悠一さん(2年次)

■日程

7月30日(水)～8月13日(土)
引率 吉川 顕磨教授



地域連携フォーラム2005 「世界遺産、遙かなる敦煌を語る」開催

金沢星稜大学地域連携フォーラム2005「世界遺産、遙かなる敦煌を語る」が、11月24日(木)、石川県立音楽堂で開催されました。

セッションIでは、本学教員などで構成される北東アジアプロジェクトチームが中国を訪れた際の研究成果を観光産業・貿易などの観点から報告しました。

また、セッションIIでは、敦煌研究院の研究者を招い



ハンガリー／コドラーニ・ヤーノシユ 大学より短期研修学生来学

10月3日(月)、本学と姉妹校提携を結ぶコドラーニ・ヤーノシユ大学(ハンガリー)から6名の学生が短期研修学



生として来学しました。10月18日(火)までの日程で本学での授業聴講や茶道、生け花などの日本文化の体験や、和倉温泉加賀屋での研修を経験しました。



第38回北信越学生経済ゼミナール インナー大会開催

11月20日(日)、本学にて『第38回北信越学生経済ゼミナール インナー大会』が開催されました。北信越地区の経済・経営学ゼミの研究発表



会であるこのインナー大会を運営したのは、本学のゼミナール協議会。委員長の梶田正樹さん(3年次・澤ゼミ所属)を中心に、数ヶ月前から準備を進めてきました。各ゼミより質問や意見が活発に出され、今後の研究に繋がる有意義な大会でした。



3年次対象 就職ガイダンス・合同企業説明会開催

12月10・17日(土)に3年次対象の就職ガイダンス「履歴書エントリーシート作成講座(午前)」、「職種別合同企業説明会(午後)」が実施されました。履歴書エントリーシート作成講座では、人材教育コンサルタントの島田郁子さんを講師に招き、自己分析から履歴書作成まで行いました。学生たちは改めて書くことの難しさを痛感したようでした。

合同企業説明会には、2日間では最も早い学内合同企業説明会となりました。それぞれ会社ごとに職種の特徴や他社との違いについて説明があり、実際に担当者より生の声を聞くことができ、これからの職業選択に多に役立ちました。

澤ゼミナールが 最優秀賞受賞！

1月29日(日)「いしかわ大学促進協議会・第二回地域課題研究ゼミナール成果報告会」が奥能登行政センター(能登空港ターミナルビル)で行われ、本学からは、最優秀賞に選ばれた澤 信俊ゼミと池田幸應ゼミが参加しました。

本学では、多くの学生が自治体と共に地域活性の課題に取り組んでいます。

白銀の世界でスノースポーツを体験 冬季集中講義「野外スポーツ演習Ⅱ」

2月6日(月)～8日(水)の2泊3日の日程で、本学正課「野外スポーツ演習Ⅱ」(冬季スノースポーツ実習)が長野県梅池高原において実施されました。今回、26名の学生が参加し、主としてスキー、スノーボードのスノースポーツを経験しました。集団生活を通じて、様々なスノースポーツ技術の修得に加え、学生同士やスタッフの教職員とも交流しながら楽しく充



サークルリーダー 研修開催

課外活動の活性化と各クラブの問題点を代表者が一同に会して話し合い、団体間の懇親を深めることを目的とした「サークルリーダー研修」が、2月7日(火)～8日(水)の1泊2日の日程で石川県青少年総合研修センターにて行われました。本学の部活・同好会30団体・57名の学生とアドバイザーの教職員が参加しました。学友会執行部の進行にて討議が進み、活動計画の発



表や大学に対する要望など活発な意見が出され、横のつながりも深まった研修でした。

◆就職に強い！ 就職内定率99.1% 就職率83.5%

バブル期並みの高い就職率

昨年度卒業生(H17. 3月卒業)の就職(内定)率は、99.1%と高い実績を残しています。全卒業生の中で実際に就職した割合を示す就職率は、83.5%となります。文部科学省学校基本調査では昨年度の大卒の就職率は59.7%です。同調査によれば就職率が80%を超えたのは、バブル期以降の91・92年度だけです。しかも内定者のおよそ5人に1人が上場企業からの内定を獲得しています。

星稜中学・高等学校

生徒に見合った受験指導 今年の大学受験

国公立大学では、4年連続
150名を超える161名
(現役合格者141名。過去
最多)が合格、私立大学へは、
早稲田大学18名(過去最多)
をはじめ854名が合格しま
した。(3月24日現在)

その中には、国公立大学医
学部医学科に4名、歯学部
に2名、また13年ぶりに自治医
科大医学部医学科の合格があ

国公立大学	
北海道大	3
東北大	1
筑波大	3
東京工業大	1
富山大	35
金沢大	24
名古屋大	2
大阪大	1
首都大東京	1
石川県立看護大	5
石川県立大	6
ほか	

私立大学	
早稲田大	18
慶應大	5
上智大	2
立教大	8
明治大	13
法政大	12
青山学院大	11
中央大	8
東京理大	14
関西学院大	10
関西大	29
同志社大	23
立命館大	57
ほか	

りました。コース制を取り入
れた2年目に、昨年同様全
コースから国公立大学合格者
があり、コース制への成果が
表れています。
国公立大学、私立大学とも、
生徒の学力に見合った受験指
導がなされたことが実を結
び、多くの合格者を出すこ
ができました。

大学入学へのスキルアップ フオローアップ授業

星稜高校から金沢星稜大学
への進学予定者が、合格から
入学までの間、スキルアップ
を図ることを目的に、金沢星
稜大学が開催するフオロー
アップ授業を受講しました。
今後、星稜高校生が金沢星
稜大学の特色を予め認識でき
る場としても考えています。
入学者の資質向上を図り、

高校から大学への一貫教育の
充実と付加価値を高める一歩
を踏み出すものです。
初年度は、生徒が興味を持
ち、目標を持って取り組みや
すい資格に関する講座が実施
されました。
【開講科目】
■CG・画像処理
■簿記入門
■ワープロ3級

異文化に触れるかけがえのない経験 2週間の海外語学研修を実施

星稜高校が、毎年夏期休暇
中に、オーストラリアのプリ
スベンにおいて実施している
海外語学研修。平成17年度は、
合計30名の生徒が、8月1日
から2週間のホームステイを
経験しました。

生徒達に最も人気があった
のが、「ミッショントレー」とい
うプログラム。3〜4人のグ
ループに分かれ、現地の人々
に英語で質問しながら街中を
探索し、与えられた課題を解

決するものです。英語をコ
ミュニケーションツールとし
て駆使する貴重な体験となっ
たようです。

英語を学ぶことはもちろ
ん、ホストファミリーとの交
流、異文化との出会いを通じ
て得たものは、生徒達にとっ
て大きな財産となったことで
しょう。



「いしかわ中日体育賞」「県優良部活動指導者知事表彰」 星稜高校から4名が名誉ある受賞

石川県のスポーツ界を支
え、国内外の大会で活躍した
選手、指導者らを称える、北
陸中日新聞の「いしかわ中日
体育賞」表彰式が1月28日、
行われました。

た山下智茂野球部前監督。県
大会7連覇を果たした、サッ
カー部監督の河崎護先生。世
界を相手に大活躍した、陸上
部の宮原綾さん(平成17年度
卒業)。3名はそれぞれ、特
別賞、指導者賞(いぬわし
賞)、選手賞(あすなる賞)を

受賞しました。
また、陸上部を輝かしい成
績に導いた陸上部監督の親谷
均二先生が、2月27日に石川
県優良部活動指導者知事表彰
を受賞されました。



山下智茂前監督



河崎 護先生



宮原 綾さん



親谷均二先生

学園祭ライブには 今年も人気アーティストが登場 第44回星稜祭

9月5日・6日の2日間に
渡って開催された星稜祭。



やってみよう、という思いが
結集しました。

各クラスやクラブが腕をふるい、趣向を凝らした模擬店・各種展示、ダンスやコンサートで生徒達が頑張れば、教員も、教員劇の名演技で大いに盛り上げました。

注目の学園祭ライブは、「ROCK」。心地よいハーモニーと迫力あるステージで華を添えました。

歳末の街角で、保育園で クリスマスソングを響かせる

記録的な大雪に見舞われた12月、心温まる演奏で、星稜高吹奏楽部が活躍しました。

18日には、金沢市の香林坊大和前にて「歳末たすけあいチャリティーコンサート」を開催。折からの猛吹雪の中、赤いサンタ帽をかぶって懸命に演奏する姿に、立ち止まって聴き入る人々からも、多くの善意が寄せられました。
また26日には、「金沢子育て夢ステーション事業」の一

環で金沢市内の保育園を訪れ、クリスマスソングの演奏や、楽器の説明、クイズなどで園児たちと交流しました。



星稜中学サッカー部・野球部県大会で大活躍

サッカー部・野球部が、新入戦を中心に素晴らしい活躍を見せてくれました。

10月には、サッカー部が金沢市地区予選を勝ち抜き「石川県中学校新人サッカー大会」に出場。本戦も順調に勝ち進み、見事優勝を収めました。

野球部は、11月に行われた石川県野球協会会長旗争奪第6回中学校野球選手権において、5年ぶり2度目の優勝を果たしました。

来季の全国大会での活躍が期待されます。



迫力ある演奏から社会派レポートまで 総合学習の成果を発表

総合学習の発表の場である「第4回星稜中学発表会」が、11月19日、星稜大学内の講義室で開催されました。自ら課題を見つけ、自ら学び考え、問題解決する力を育てることが、総合学習のねらいです。

生徒達は、4月から約8ヶ月かけて、自ら決めた課題に対して、インターネットを利用したり、アンケートをとったり、実際に現地に赴いたり

して調べ、知識を深めてきました。

発表会では、環境問題や戦争・平和問題から、文化遺産、職業、コミュニケーションスキルについての発表や、力を合わせた合奏などが行われ、各クラスの特色あふれるものでした。生徒達の一生懸命取り組んだ成果に、会場からは惜しみない拍手がおくられました。

高校・中学卒業式

3月1日(水)午前10時より高校の卒業式が、3月15日(水)午後2時より中学校の卒業式が、稲置講堂において行われ、高校644名、中学51名が新たな旅立ちに向け、巣立って行きました。稲置美弥子理事長より「誠実にして社会に役立つ人間としての心構えを忘れず一歩一歩成長してほしい」と告示が述べられました。

また、高校の陸上競技においてめざましい活躍のあった宮原綾さんに理事長が贈られました。

県高校総体「最優秀校3冠」

石川県高体連の平成17年度県高校総体優秀校に、星稜高校が総合、男子、女子の最優秀校3冠に輝きました。最優秀校の獲得は男子15回、女子13回、総合で30回となりました。

■全国大会出場

【平成17年度全国高等学校総合体育大会】

陸上競技 17名
宮原 綾 400mH 1位
400m 3位

トランポリン 6名

女子団体 準優勝

山下なつみ 個人3位

坂口 絵里 個人4位

サッカー部、剣道(男子団体)7名、

女子テニス5名、空手道1名、ボク

シング1名

【第60回国民体育大会】

陸上競技 3名

宮原 綾 400mH 1位

400m 4位

日野 勇輝 110mH 2位

ボクシング 2名

鍛冶 真人 フェザー級 5位

サッカー部12名、女子バレーボール2名、剣道(女子)1名、ソフトボール2名、女子テニス1名

【第84回全国サッカー選手権大会】

サッカー部

【第55回全国高等学校スキー大会】

スキー 2名

直江 美沙 回転 8位

【第61回国民体育大会(冬季)】

スキー 2名

【全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会】

女子バレーボール部

【第77回選抜高等学校野球大会】

野球部

【第4回世界コース陸上競技選手権大会(モロッコ)】

宮原 綾 400mH 3位

【平成17年度全国高等学校総合文化祭】

将棋1名、囲碁1名、文芸1名

星稜女子短期大学

自己発見と職業観育成を目指して

星稜女子短期大学では、平成17年度後期よりオープンイベント実施と学生によるブログ作成を行っています。

オープンイベントとは「スポーツクラブ取材」「哲学カフェ」「外国人に日本の文化を伝える」「地域金融研究会への参加」「新ブランドだいこん試食会」「浅野川園遊会ボランティア」など教員がそれぞれテーマを設定しその都度参加学生を募って行っており、地域貢献や職業観の育成などを

目的としています。

このうち「新ブランドだいこん試食会」は、七尾市のJA能登わかばが開発しただいこんの新品種「能登娘」の販路拡大に向けて協力しようと企画されたものです。平成18年1月26日（木）にJA能登わかば、スローフード金沢の方々をお招きし、本学食堂において開講されました。

「能登娘」をすり下ろしてもちにからめたり、酢や醤油をかけたたりして試食し、味に

ついての感想やメニューのアイデアを出し合いました。

また「浅野川園遊会ボランティア」は、平成18年4月8日（土）と9日（日）に開催される浅野川園遊会の「20回記念を祝う会」での会場準備や受付の他、開催当日はボランティアとして新入生全員の参加を予定しています。また、浅野川園遊会告知ポスターの配布をお手伝いしました。

このオープンイベントは、平成18年度からカリキュラムに取り入れられる
※「Seminar Community」

と有機的に結びつけて活動をする予定です。

一方のブログ作成は、学生生活、就職活動、オープンイベントや学校の行事に参加して得たこと、感じたことを文章にすることで文章力、表現力を養い、さらに自己発見に繋げることを目的としています。

学外へは公開していませんが、教員や大半の学生が書き込んでおり、よい情報交換の場にもなっています。

2006新春スポーツフォーラムin星稜を開催

平成18年1月14日（土）15時より稲置講堂において、馳浩氏（文部科学副大臣・衆議院議員）、荻原健司氏（参議院議員）、為末大氏（プロ陸上選手）、乙武洋匡氏（スポーツライター）の4氏を迎えて、「2006新春 スポーツフォーラムin星稜」を開催し、約800名の方が聴講しました。

まずはじめに千原恭一学長が開会の挨拶で、本学が4月



より※スポーツマネジメントコースを開設することとなった経緯およびこのスポーツ

フォーラム開催の経緯を述べられました。

進行役の大森重宜教授がフォーラムの趣旨について説明した後、荻原氏、為末氏、乙武氏に基調講演としてそれ

ぞれ約15分ずつ講演いただきました。基調講演ではご自身の体験をもとにスポーツを取り巻く環境の現状について話されました。

パネルディスカッションでは、大森教授がコーディネーターとなり、馳氏にも加わっていただきスポーツマンシップ、スポーツと教育、セカンドキャリアのサポート、学校体育と地域スポーツの融合、スポーツマネジメントの必要性などについて意見を交わしていただきました。

※スポーツマネジメントコース新設

平成18年度より、従来の「会計」「ビジネス」「情報」の3コースを統合・再編し「会計」「ビジネス」の2コースとし、第3のコースとして新たにスポーツマネジメントコースを設置します。将来性のあるスポーツビジネスの中核で活躍するために必要な企画・運営・営業能力を培います。



※「Seminar Community」

地域貢献を通じた共同体験の中で、学生の知的好奇心を刺激し自己特性の発見と道徳観を養い、コミュニケーション能力と専門能力を体験的・実践的に育てることを目的とし、通年科目として平成18年度からの新カリキュラムに取り入れられる。

星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園

星稜泉野幼稚園



お店屋さんごっこ

1月25日(水)年長組さんでお店屋さんごっこがはじまりました。レストランに回転ずし、アクセサリー屋さん、宝つり、映画館にくじ引きやさん、みんなで相談して、たくさんのお店ができました。お客さんの年中組さんは、メニューを見て、スバゲティとジュースを注文、さあ「いただきます」。

星稜幼稚園

よっこそ 川淵キャプテン

11月18日(金)Jリーグキャプテンの川淵三郎氏が来園されました。川淵キャプテンはJリーグチエアマン時代から、グラウンドの芝生推進に努めておられ、園庭の芝生も日本サッカー協会より寄贈していただきました。
芝生の上で走ったり、転がったりすることで、心身の発達に大きな効果が期待できるそうです。
芝生の青々とした色、芝生



の上をそよぐ風、芝生を走るはだしの感触。体全体で芝生を感じている子どもたちの笑い声が響き渡っています。芝生の上で食べるお弁当は世界一です。

豆まき会

2月3日(金)星稜幼稚園で、豆まき会がありました。



「鬼は外！福は内！」と大きな声がとびかいます。笑顔で豆をまく園長先生、子どもたちもキャーキャー歓声をあげながら逃げまわっています。
みんなのお腹にすんでいた「泣き虫オニ」「好き嫌いオニ」「甘えん坊オニ」：たちも「こりやたまらん」と逃げていったようです。
その後、今年の恵方の南南東を向いて願い事を思いながらのり巻き寿司を食べました。

みんなで遊ぼう 土曜日

6月4日(土)改修工事も終わった緑いっぱいの園庭で、「みんなで遊ぼう土曜日」の会が行われました。その日はお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんも加わって、パラバルーンやゲーム、かけっこなどを楽しみました。
家族みんなの笑い声が、泉野の街にいつまでもこだました一日となりました。



節分

2月3日(金)「鬼は外」「福は内」節分に豆まき会をしました。

みんなの健康と幸福を願って豆をまいた後は、お楽しみ会ゲーム大会。中でも先生が鬼の顔のついたかごをもって走る、追いかけて玉入れは逃げる先生も追いかける子どもたちも必死のゲーム。
「先生ももっと低くしてくれないと入らないよ」の声も上がるにぎやかな会になりました。



そりあそび

今年の冬は、子どもたちの期待通りのたくさん雪が降りました。もうそれはそれは嬉しそうでした。園庭の築山からソリですべるととても気持ちが良いです。寒くたって外で遊ぶのが大好きな子どもたちです。



NEWS

社会に認知される歴史の1ページ ベトナムに育て野球選手



熱心に指導する山下智茂総監督、小松辰雄氏

11月中旬、師弟の間柄でもある、山下智茂星稜高校野球部総監督と、卒業生で元中日ドラゴンズ投手（現在野球解説者）小松辰雄さんが、ベトナムのホーチミン市クチ郡ニョアンドウック村の中学校に、野球指導のために訪問。旧知の仲である北陸ベトナム友好協会の林敦会長（ミサワホーム会長）から依頼を受けたものだが、訪問先の中学校は卒業生ニョーヨークヤンキース松井秀喜選手が以前、野球用具を贈るなど、野球普及の足がかりがあったとはいえ、きちんとした指導者がおらず、キャッチボールもままならない状況でした。

当初、ベトナムの生徒たちは、名監督、名選手にもピンとこない様子でしたが、二人の熱心な指導に耳を傾け、懸命にボールを追いかけていました。練習試合ではフライングプレーに驚かされる場面もありました。

市の教育・スポーツ関係者を招いて行われた野球普及のための交流イベントでは、山下総監督がベトナムの野球熱が高まり、国際大会で活躍できる日が来ることを期待していると挨拶されました。

今回のベトナム訪問は現地の新聞、テレビでも「野球がベトナムの社会に認知される歴史の1ページ」として取り上げられました。



NEWS

名将の功績に感謝

今秋に星稜高校野球部監督を勇退した山下智茂監督の功績を称える感謝の会が平成17年12月23日にホテル日航金沢で開かれ、約330人が出席しました。

来賓の山岸勇典教育長をはじめ石原多賀子金沢市教育長、東文博県高野連会長らが輝かしい足跡に拍手を送り、祝辞を述べられました。また馳浩文部科学

副大臣からのメッセージも紹介されました。

鏡開きは、この会にふさわしく小槌に替わり野球のバットが準備され、なごやかに行われました。

夏の甲子園で延長18回の激闘を互いに演じた箕島高校の尾藤公元監督も駆けつけ、宝物のような試合をさせていただいた喜びや、厳しさと温かさを持つ山

下監督への思いを熱く語られました。

山下監督は、謝辞で多くの人と出会い、素晴らしい野球ができたことに感謝し、「野球を文化として世界の若者に夢と希望を与えたい」と今後の意欲を述べられました。

今後は総監督として野球を通じて、人間教育に一層の尽力が期待されます。



夫人と共に謝辞を述べられている山下智茂総監督



バットによる鏡開き



平成18年度学校法人稲置学園事業計画概要

平成18年度学校法人稲置学園事業計画は、建学の精神である「誠実にして社会に役立つ人間の育成」を、すべての部署において具現化を図るため活動する。

少子高齢化は、教育現場である学校にあっては、幼児、生徒、学生の減少につながっている。本学園において、大学及び短期大学では、18歳人口の減少の影響もあり、入学者定員確保が困難な状況にある。教育の充実を図ると同時に、新学部学科設置の可能性について、検討し、措置することが必要である。

学園の改革は、組織改革とともに、教職員の意識改革が重

要である。それぞれの部署で、過去の慣習にとらわれることなく、各々が置かれている現状を直視し、将来に向かって発展する組織と意識の改革でなければならない。

教育機関としての任務を全うすること、研究に従事し成果をあげることなど、学園が果たすべき役割を自覚し、行動しなければならない。

学園は、地域とともに活動し、地域に貢献しなければならない。

以上の学園の事業計画を踏まえ、各部署においてそれぞれ事業が計画され、より効果的・効率的な事業遂行を目指します。

学校法人稲置学園 個人情報保護基本方針

学校法人稲置学園（以下「本法人」という。）は、個人情報の保護の重要性について深く認識し、個人情報保護基本方針を策定し、以下の取り組みを実施します。

第1条 個人情報の定義

「個人情報」とは、生存する個人に関する情報で、次のいずれかに該当するものをいいます。

1. 氏名、住所、生年月日、電話番号、電子メールアドレス等、特定の個人を識別することができるもの
2. その情報のみでは特定の個人を識別できないものの、他の情報と容易に照合することができ、この照合により個人を識別できることとなるもの

第2条 個人情報の取得と利用

本法人は、利用目的をできる限り明確にした上で、その利用目的を達成するために必要な範囲で、適正な手段により個人情報を取得します。その利用目的は、法令の定めによる場合を除き、本人（個人情報から識別される特定の個人）に通知又は公表します。

また、あらかじめ本人の同意を得るか、法令の定めによる場合を除き、利用目的の範囲内で個人情報を利用し、取り扱います。また、データベース化等された個人情報を第三者へ提供する場合には、法令の定めによる場合を除き、あらかじめ本人の同意を得るようにします。

第3条 個人情報の管理と保護

本法人は、個人情報に関するリスク（漏えい、紛失、破壊、改ざん、不正アクセスなど）を認識し、これらを防止するための必要かつ適切な安全管理措置を講じます。教職員等に対しても、また個人情報の取扱いを委ねる外部委託先等に対しても、必要かつ適切な監督を行います。

第4条 個人情報の開示、訂正、削除等

本法人は、データベース化等された個人情報につき、所定の手続により本人から情報の開示、訂正、利用停止等の請求がなされた場合には、法令の定めに従い、速やかに対応します。

また、取り扱う個人情報につき、本人からの苦情に対し迅速かつ適切に取り組み、そのための学内体制の整備に努めます。

第5条 遵守すべき法令・規範

本法人は、個人情報の取扱いに関し、個人情報保護法その他関係法令、文部科学大臣の定める指針及び基本方針を遵守いたします。

第6条 個人情報保護管理体制と仕組み及び取り組みの継続的改善

本法人では、個人情報保護に関する管理の体制と仕組み及び第2条以下の取り組みを適宜見直し改善していきます。

平成17年4月1日

学校法人稲置学園 理事長 稲置 美弥子

■ お問い合わせ

個人情報や当基本方針の内容に関するご質問などがございましたら、本法人の下記連絡先までお問い合わせ願います。

《連絡先》

学校法人稲置学園 法人本部法人課

〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10番地1
Tel (076) 253-3908 Fax (076) 253-3993

金沢星稜大学 事務局総務課

〒920-8620 石川県金沢市御所町丑10番地1
Tel (076) 253-3924 Fax (076) 253-3995

星稜女子短期大学 事務局教学課

〒920-0813 石川県金沢市御所町西1番地
Tel (076) 253-5900 Fax (076) 253-5927

星稜高等学校・星稜中学校 事務室

〒920-0811 石川県金沢市小坂町南206番地
Tel (076) 252-2237 Fax (076) 252-9988

星稜幼稚園

〒920-0813 石川県金沢市御所町寅27番地
Tel (076) 252-5057 Fax (076) 252-5073

星稜泉野幼稚園

〒921-8034 石川県金沢市泉野町6丁目17番地30号
Tel (076) 244-5636 Fax (076) 244-5639

■ 制 定

当基本方針は、平成17年4月1日から適用します。

行事スケジュール(4~6月)

金沢星稜大学

4月	2日(日)	専門ゼミナールin 山中キャンパス(3年次)
	3日(月)	
	4日(火)	入学式・基礎学力試験
	5日(水)	新入生学内ガイダンス
	6日(木)	基礎ゼミナールin輪島キャンパス (新入生)
	7日(金)	
	7日(金)	2・4年次ガイダンス、 二部新入生・在学生ガイダンス
	10日(月)	前期授業開始
5月	20日(土)	新入生歓迎祭

星稜中学・高等学校

4月	7日(金)	始業式
	8日(土)	入学式
	10日(月)	新入生オリエンテーション
	11日(火)	新入生オリエンテーション
	26日(水)	遠足(中・高)
5月	13日(土)	PTA総会
	20日(土)~24日(水)	中間試験
6月	1日(木)~4日(日)	県高校総体
	16日(金)~18日(日)	北信越大会

星稜女子短期大学

4月	3日(月)	2年次オリエンテーション
	4日(火)	2年次健康診断
	5日(水)	入学式
	6日(木)	新入生オリエンテーション
	7日(金)	新入生オリエンテーション
	10日(月)	新入生歓迎祭、新入生健康診断
	11日(火)	前期授業開始
5月	18日(木)	Seminar Community
6月	3日(土)	稲星会役員会及び総会
	10日(土)	北陸三県私立短大体育大会
	11日(日)	
	20日(火)	体育祭

星稜幼稚園

4月	6日(木)	始業式
	10日(月)	入園式
	28日(金)	保育参観、保護者会総会
5月	20日(土)	個人懇談会
	26日(金)	親子バス遠足
6月	14日(水)	アスレバル石川
	20日(火)	観劇
	30日(金)	オープンハウス

星稜泉野幼稚園

4月	6日(木)	始業式
	10日(月)	入園式
	21日(金)	保護者会総会
5月	12日(金)	保育参観、クラス相談
	19日(金)	親子バス遠足
	30日(火)	避難訓練
6月	14日(水)	アスレバル石川
	17日(土)	個人懇談会
	20日(火)	観劇(年中)
	27日(火)	オープンハウス



あとがき

「星稜サエラ」お届けします。創刊号であるため、理事長のあいさつに続いて、新任校長に登場していただきました。学園の園児、生徒及び学生たちのはつらつとした姿を載せました。そして、保護者と教職員も。

この冊子は、年間3回か4回の発行予定です。保護者や学校関係など幅広くお届けし、学校法人稲置学園の「いま」と「あした」を知っていただきたいと願っています。教職員間における情報の共有にも役立てたいと欲張っています。

まだ、始まったばかりです。これから内容を充実します。

桜が咲き、気分も一新する春をまじかにして誕生した「星稜サエラ」、皆様のご支援をお願いします。

法人本部法人課長 春本 裕雄

学校法人稲置学園・設置各校

金沢星稜大学

石川県金沢市御所町丑10-1
☎076-253-3924 (代表)
<http://www.seiryu-u.ac.jp/>

星稜女子短期大学

石川県金沢市御所町西1
☎076-253-5900 (代表)
<http://www.seiryu.ac.jp/>

星稜高等学校

石川県金沢市小坂町南206
☎076-252-2237 (代表)
<http://www.seiryu-hs.jp/>

星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206
☎076-252-2237 (代表)
<http://www.seiryu-hs.jp/>

星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27
☎076-252-5057 (代表)
<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6-17-30
☎076-244-5636 (代表)
<http://kinder.seiryu.jp/izumino/>

星稜サ・エ・ラ

サ・エ・ラ (ca et la) とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てるという意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。